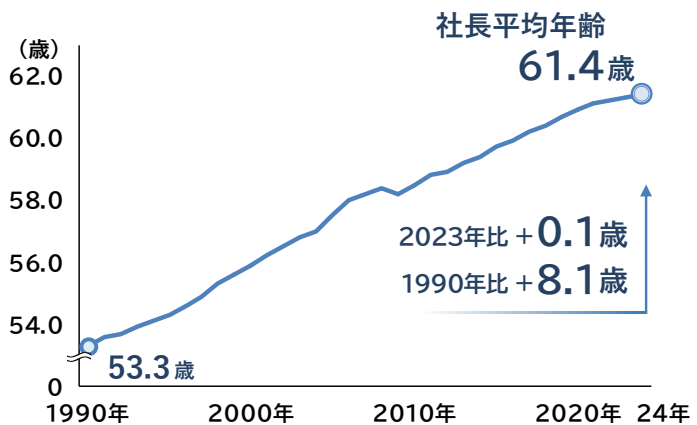


「社長年齢」分析調査（茨城県）2024 年

社長の平均年齢 61.4 歳、 「過去最高」を更新、高齢化止まらず ～ 「50 歳以上」、6 年連続で 8 割超え ～

平均年齢（茨城県）

帝国データバンクが実施した調査では、2024 年における茨城県内企業の後継者不在率は 7 年連続で前年の水準を下回り、過去最低の 41.0%となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化に歯止めがかからない状態が続いており、事業承継中に発生した想定外の事態などで、事業継続に影響を及ぼすケースもみられる。



企業概要ファイル「COSMOS 2」（約 148 万社収録）から、2024 年 12 月時点における茨城県内企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

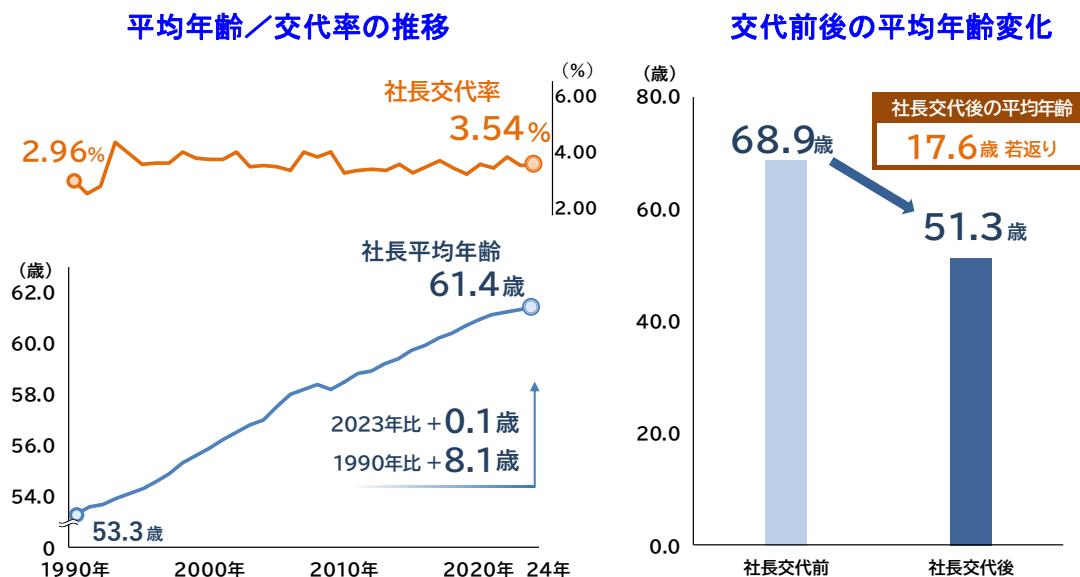
調査結果（要旨）

- 茨城県内企業の社長の平均年齢は 61.4 歳。前年を 0.1 歳上回り、過去最高を更新。社長が交代した割合は 3.54%、前年から大きく変わらず 31 年連続の 3%台
- 年代別でみると、「50 歳以上」の社長は 8 割超、「30 代以下」の若手経営者はわずか 2.3%にとどまる
- 業種別でみると、「不動産」が 65.0 歳で最も高い。「卸売」（61.9 歳）、「小売」（61.8 歳）、「製造」（61.7 歳）も、茨城県全体の平均年齢（61.4 歳）を上回る。
- 交代した社長の就任経緯、「同族継承」が 51.8%で半数以上を占める

1. 県内企業の社長の平均年齢は 61.4 歳、過去最高を更新

茨城県内企業の社長の平均年齢は、2024 年時点で前年を 0.1 歳上回る 61.4 歳となった。統計として遡れる 1990 年から上昇が続いており、過去最高を更新した。社長交代率は 3.54%にとどまっており、31 年連続で 3%台の低水準が続いている。依然として、社長の世代交代に関して活発な様子は見られず、社長の高齢化はさらに進行している

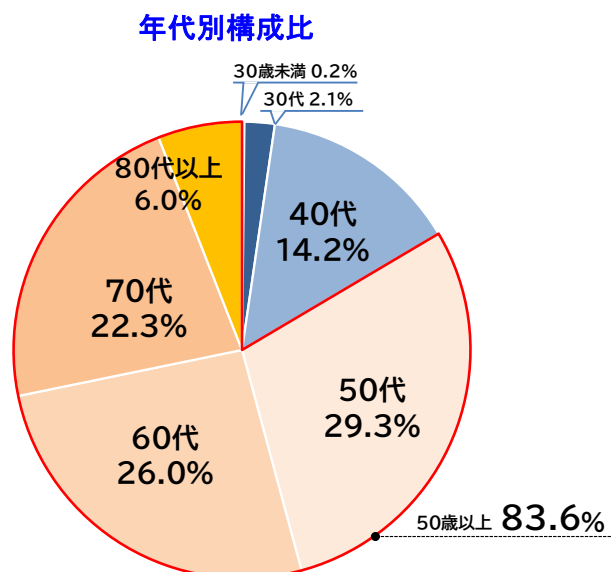
社長が交代する際の年齢は平均 68.9 歳となり、前年（70.0 歳）から 1.1 歳ほど若返った。社長交代後の新社長の年齢は 51.3 歳で、社長交代によって平均 17.6 歳若返っている。



2. 「50 歳以上」の社長は年々上昇、6 年連続で 8 割超え

2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 83.6%となり全体の 8 割以上を占めた。2024 年はいわゆる「団塊ジュニア」世代の多くが 50 歳を超える時期であり、6 年連続で 8 割を上回るなど上昇が続いた。また、「60 歳以上」で区分しても 54.3%と半数を超えている。

加えて、「30 歳未満」は 0.2%、「30 代」は 2.1%にとどまり、30 代以下の社長は全体のわずか 2.3%に過ぎない。



3. 「不動産」が 65.0 歳でトップ、前回調査から 1.2 ポイント上昇

社長の平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 65.0 歳でトップだった。また、「卸売」（61.9 歳）、「小売」（61.8 歳）、「製造」（61.7 歳）も、茨城県全体の平均年齢（61.4 歳）を上回った。

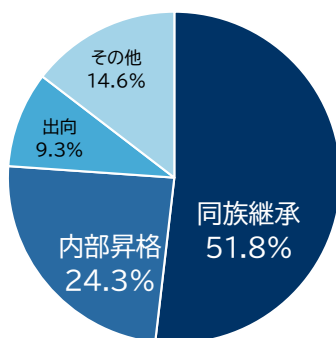
「その他」を除く平均年齢が最も低かった業種は「建設」で 60.8 歳だった。60 歳を下回る業種はなく、総じて平均年齢は上昇傾向をたどっている。

平均年齢（業種別）

	1995	2000	2005	2010	2015	2020	(歳) 2024
建設	52.6	54.6	56.7	57.6	59.1	60.2	60.8
製造	55.9	57.5	58.5	59.6	60.9	61.8	61.7
卸売	55.3	56.6	58.1	58.9	60.2	61.4	61.9
小売	54.6	55.9	57.8	59.2	60.3	61.3	61.8
運輸・通信	54.6	55.8	57.3	58.8	59.4	60.6	61.1
サービス	53.0	55.0	56.7	57.6	58.9	60.4	61.1
不動産	54.4	57.4	59.5	60.2	62.1	63.8	65.0
その他	55.7	56.9	56.3	57.1	58.2	59.9	60.2

4. 交代した社長の就任経緯、「同族継承」が半数以上を占める

就任経緯別



就任経緯別・社長交代における前後の平均年齢

就任経緯	平均年齢		(歳) 年齢差
	交代前	交代後	
同族継承	71.0	46.0	25.0
内部昇格	65.1	53.7	11.4
出向	60.1	55.4	4.7
その他	62.5	52.9	9.6
全体	68.9	51.3	17.6

※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

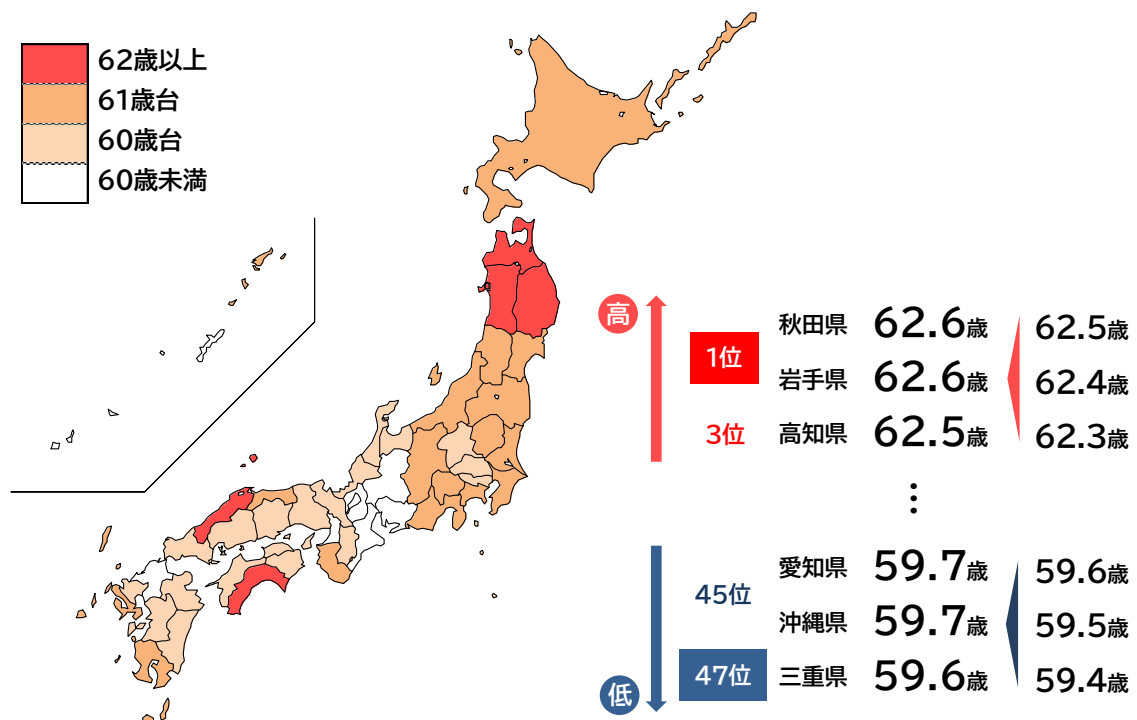
交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族継承」が 51.8% で最も高く、「内部昇格」が 24.3% で続いた。就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族継承」が交代前の平均年齢では 71.0 歳で最も高く、「内部昇格」は 65.1 歳だった。交代後では「出向」が 55.4 歳で最も高く、「同族継承」が 46.0 歳で最も低かった。

今後の見通し

県内企業の社長の平均年齢は 61.4 歳となり、過去最高を更新した。社長が「50 歳以上」である企業の割合は引き続き 8 割を超え、「社長の高齢化」が一層深刻になっている。業種によっては、さらに高齢化が進行している実態も明らかとなった。直近では社長交代率が低水準にとどまるなか、今後も社長の平均年齢は上昇し続けると見られる。

2019 年、中小企業庁は「2025 年までに 70 歳を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約 245 万人となり、うち約半数の 127 万人が後継者未定」との試算を発表しているが、鈍化する社長交代率を背景に平均年齢の上昇に歯止めがかからない。今後は事業承継が進まず、事業継続を断念せざるを得ないケースがさらに増加する可能性がある。

社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性が高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向けた周知な準備が求められる。



【内容に関するお問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 水戸支店 (情報担当: 国分 信一郎)
 TEL 029-221-3717 FAX 029-232-0272 MOBILE 080-7002-7189

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内で
 ご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。